

NPO 医療を考える会 講演会

# 現代たべもの事情

お話し 山本 博史 農民運動全国連絡会参与

高齢化がすすみ、癌や脳卒中など慢性疾患が広がり、病気の予防の大切なことが再認識されてきました。最近普及している健康の出版物をみると、「病気にならない生き方」「病気は自分で治す」「食べる免疫力」「食べない健康法」など、生き方や食べ方が問い直されています。

病気への対処で重要なことは、病気にかかりにくい身体づくりであり、病気の予防です。身体づくり、病気の予防で大切なのは食べ物であり、食べ方です。食生活の知識こそ健康な生活の土台です。ところが、この「食べ物」についてつぎつぎに問題が明らかになっています。

「作物の残留農薬の不安」「食品添加物の不安」「遺伝子組み換え作物の不安」など、これらの問題が企業の偽装や情報隠しと重なり、食べ物、健康に大きな不安を作り出しています。

安全、安心な食べ物を手にするためにも、正しい情報が必要です。農業や漁業の将来も心配です。

NPO 医療を考える会では「東洋医療を活かした健康づくり講演会第7回」に食べ物のいろいろな情報に詳しい、農民運動全国連合会参与の山本博史氏のお話を聞き懇談することにいたしました。みなさんのご参加をお願いいたします。

NPO 法人医療を考える会主催

東洋医療を活かした健康づくり講演会

日時 平成20年10月26日

午後1時30分～3時30分

会場 渋谷区上原社会教育会館

小田急・地下鉄千代田線代々木上原

下車5分 (03-3481-0301)

講演 山本 博史氏 現代食べ物事情

